



令和6年 9月発行

中濃県事務所 振興防災課 振興防災係

家庭教育担当:塚原

〒501-3756 美濃市生櫛1612-2

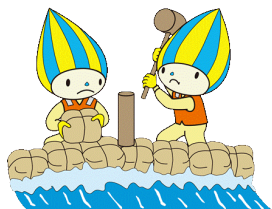
TEL: 0575-33-4011 (内線210)

関市立

小金田中学校

防災講演会

～大雨災害と早めの避難～



関市立小金田中学校では、本年7月に全校生徒と保護者を対象に、家庭教育学級「防災講演会」を開催されましたのでご紹介します。

【開催の経緯】

本校の校区には複数の河川があり、大雨や河川の増水時には避難勧告が出ることもあります。昨年夏の大雨の際にも、同校の体育館に避難所が開設されました。

今回、PTA家庭教育学級長の強い願いで、この講演会が実現しました。



【講演会の概要】

＜開催日＞ 令和6年7月8日（月）

＜講師＞ 清流の国ぎふ防災・減災センター
村岡 治道 氏

＜講演名＞ 「大雨災害と早めの避難」

＜講演内容＞

なぜ避難をするのか？→守りたいものがあるから
あなたの守りたいものは何ですか？・・・（グループ別交流）
間一髪はダメ。避難とは「難を避けること」



- 1 命を守るための考え方と行動について
避難しない理由を探してはダメ。避難する必要性和手順を考える。
- 2 大雨と地震は違う
大雨→避難 地震→脱出
- 3 どこへ避難するか？
守りたいものが守れる場所→それはどこ？・・・（グループ別交流）
- 4 ハザードマップで、自宅の位置と危険箇所を確認
- 5 避難場所までの距離、時間、手順、何を持って行くかを把握
逃げようとしめない家族を説得しよう→どうやって？・・・（グループ別交流）
- 6 守りたいものを守るために早めの避難を心がける

【グループ別交流の様子】



「あなたにとって、守りたいものは？」「守りたいものが守れる場所ってどこ？」「逃げようとしていない家族をどうやって説得する？」村岡先生からの問いかけに対し、グループごとに意見交流を行い、保護者の方々はその様子を温かく見守ってみえました。

【生徒の感想】

- ・以前大雨で避難指示が出たときのことを思い出しました。僕が2時間ずっと、「避難指示が出たのだから避難しないと！」と言い続けたのに、家族は首を縦にふらなかったで、僕だけが避難の用意をしました。結果的に川は氾濫しませんでした。でも、もし氾濫していたらと思うと怖い。今日は家に帰ったら、家族にこの講話のことを話します。
- ・講話は初めて知ることが多く、興味深かったです。「命を大切にしない大人にはなるな！」が、一番グサッとききました。逃げる選択肢も教えてもらったので、家族と共有します。
- ・講話を聴いて、逃げないという選択は、自分の命だけではなく、自分たちのことを守ってくれようと動いている警察や消防、自衛隊の人たちの命も危険にさらしていることを知りました。災害が起こる前に避難して、守りたいものを守れる自分になろうと思いました。

【保護者の感想】

- ・話を聴く姿勢から、小金田中学校の生徒たちが防災に関心をもっていることがよく分かりました。大切なのは、この講話で学んだことを、それぞれが家に帰って家族と共有することであり、自分の生活と結びつけることだと思いました。
- ・講話を聴くことができてよかったです。このような家庭教育学級を定期的で開催することで、地域全体の防災意識が高まっていくと思いました。

【主催者の感想】

講話の内容が本校の実態に即した内容で、生徒たちも自らの問題として真剣に話し合うことができ、大変有意義な家庭教育学級となりました。



【取材を終えて】

小金田中学校の生徒たちは、この講演会后、「わが家の避難場所」「ハザードマップの確認」「家の中の危険場所の確認」「非常食、非常袋の点検」の4項目から1つ選び、家族で話し合ってみようという課題にも取り組みました。今回の講演会を機に、各家庭での防災対策や避難行動に役立てていただきたいと思います。



子育てサロン

～子育ての喜びや悩みについて話そう～

関市立南ヶ丘保育園では、本年8月のプール参観日に合わせて家庭教育学級「子育てサロン」を開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

保護者の皆さんが、子育てに関する情報の交換や悩み等を気軽に話し合うことで、安心したり、気持ちをリセットしたり、保護者同士がつながったりできることを願って、初めて子育てサロンを計画しました。

【子育てサロンの様子】



学級ごとに開かれた子育てサロンでは、「夜、寝ないので困っています」「偏食がひどいのですが、大丈夫でしょうか?」といった悩みや、「休日に子どもを連れて遊びに行ける場所を教えて」「初めての習い事は何かいいですか?」といった質問・相談に対して、保護者の方々が情報交換されました。

【参加者の感想】

- ・自分が気になっていたことを話したら、皆さん大きく頷いてくださって、とても心強く感じました。悩んでいるというほどではないにせよ、同世代の子を持つお母さん方に聞いてみたかったことが聞けてよかったです。
- ・私は、ママ友0人で人見知りのため最初はドキドキでしたが、あたたかい空気感の中でとても話しやすかったです。5、6月頃にあると嬉しいなと思いました。

【主催者の感想】

保護者の皆さんが明るい笑顔で帰っていかれる姿や、「是非、またこんな会をやってほしい!」という感想を多くいただいたことで、子育てサロンを実施してよかったと思いました。

【取材を終えて】

初めての行事を行うにあたって、保護者の方々が気軽に話せるよう畳の上で円座になり、園の先生もあえて参加されない形式で行われました。

また、小学生のお子さん連れの方のために小学生用スペースを設けるなど、保護者が参加しやすいように、様々な工夫や配慮がなされていると感じました。

美濃市 あひるさん・パンダちゃんの会 子育て講話&座談会

～あわてず、あせらず、楽しく子育て～

美濃市中有知地区の乳幼児学級「あひるさん・パンダちゃんの会」では、本年8月に「子育て講話&座談会」を開催されましたのでご紹介します。

【開催の目的】

毎日子育てに追われ頑張ってみえる保護者の皆さんのために、子育てについて学んだり、日頃の悩みを気軽に相談したりできる場を提供したいという願いのもと、初めて開催しました。

地元の中学生 11 名が託児ボランティアとして参加し、会場準備から後片付け、講演会や座談会中の託児などを務めてくれました。

【講話&座談会の様子】



この会のマスコット「ケロタン」が登場して会が始まりました。子育て講話は、家庭教育専門職が行いました。



座談会では、それぞれの悩みなどが話され、みんなで対応策を考えました。和気あいあいとした賑やかな座談会になりました。



講演会や座談会の最中、美濃中学校の 11 人が、子どもたちと楽しく遊んでくれました。おかげで、保護者の皆さんは、安心して講演会や座談会に臨むことができました。

【参加者の感想】

- ・いつも子育てで頭がいっぱいの毎日をおこなっているため、今日は講話やおしゃべり会に参加してとても安心できたし、気持ちをリフレッシュすることができました。
- ・地元の中学生の子たちが我が子と上手に遊んでくれて、うちの子も将来、あの子たちのような優しい人に成長してほしいなと思いました。

【取材を終えて】

「楽しくて有意義な2時間でした！」という感想が、保護者の皆さんからはもちろん、中学生の感想からもあがりました。短い時間でしたが乳幼児から解放された保護者と、乳幼児に癒やされた中学生、両者ともに爽やかな笑顔が印象的な会となりました。

美濃市役所 子連れ出勤

～職場環境の向上、ワークライフバランスの向上の実現～

美濃市役所では、保育園や小学校の夏休みの期間に合わせて、職員が子連れで出勤できる取組を実施されましたのでご紹介します。

【開催の経緯】

美濃市役所は、職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。今回の取組は、職員の発案を受けて試行されました。



【子連れ出勤の様子】



保護者と一緒に登庁した子どもたちは、まず、庁舎を見学。親や家族が働く職場を見て回りました。

小学校3年生男児は、「お父さんが働いているところを見て、将来市役所の人みたいな仕事をしたいなと思いました。」と、話してくれました。



保護者が仕事をしている間は、子どもたちが別室で宿題をしたり、お絵かきや折り紙、プラ板体験を楽しんだりする姿が見られました。

当日は、保育士の方や武義高等学校の託児ボランティアの皆さんが、子どもたちに寄り添って優しく声をかけてくれたので、子どもたちもすぐになじむことができました。

【職員の感想】

- ・共働きで、学童以外に預かってくれる所がないのでありがたいです。仕事と両立する上で課題もあるけれど、これからの時代、このような制度は大切になると思います。
- ・保育園が休みの日は、仕事も休むしかありません。仕事と子育てを両立させるには、ありがたい試みです。

【主催者の感想】

今後も、職員同士の支え合いの心を育み、お互いにサポートし合える働きやすい職場環境づくりを進めていきます。

【取材を終えて】

昨年度、美濃市役所では、「心に伝わる言葉～人とのかかわりの糸を結ぶ～」をテーマに、職員向けの家庭教育研修も開催されました。

今後も、家庭教育に関わる様々な取組が実施されていくことを期待しています。

